

第2回 e 防災マップコンテスト 審査結果

全体講評

2011年3月11日に東日本大震災が発生し、その直後の4月から第2回 e 防災マップコンテストはスタートいたしました。日本全国が混乱した状態の中、さまざまな対応に追われる中、35グループのご参加と多数のご支援をいただきました。

35の参加グループについてですが、非常に多様性に富んだものとなりました。例えば、町内会や自主防災会、消防団、青年会議所、社会福祉協議会、女性の社会参画に関わるNPO、復興のアーカイブ活動をしているグループ、事業者グループなど、日頃から防災を目的に活動しているグループだけでなく、直接防災を目的としていないグループにもご参加いただき、地域防災活動の第一歩を踏み出していただきました。また、液状化の被害を受けた千葉県船橋市や津波で甚大な被害を受けた岩手県釜石市及び大船渡市からもご参加をいただきました。

また、地域の課題解決に向けた多様でユニークな活動が、各グループで展開されました。地域のさまざまな個人や団体を巻き込みながら地域防災の向上に向けた活動に取り組みました。防災マップづくりの取り組みを発端として、マップを持って各団体にインタビューを行う、マップを使って災害時の対応策を練り図上訓練を実施して対応策を検証するなど、マップを活用した災害リスクの共有、防災体制の再考、さまざまな主体間のコミュニケーションによる新たな連携の構築などの取り組みが行われたことが確認できました。連携・協力することで、多角的で総合的な問題解決の取り組みとなりました。

一方で、受賞作品を含め、マップに表現された被害状況や対応策が一般的な防災知識にとどまり、地域の具体的な災害特性を十分に配慮されていないグループも見受けられました。今後、地域の自然的条件や社会的状況に基づいて災害リスクを想定した上で、地域の様々な個人・団体を巻き込みながら継続的に取り組まれることを期待します。

第2回 e 防災マップコンテスト審査委員長 今村文彦

受賞グループ一覧

◎最優秀賞 星崎学区連絡協議会（愛知県名古屋市南港区）

マップづくりの過程でさまざまな主体と協力し、地域に即した実践的な水害対策に資する点が高く評価されました。

○優秀賞（審査員特別賞） 311 まるごとアーカイブス釜石事務局（岩手県釜石市）

災害アーカイブ活動と連携した東日本大震災における被災者の証言に基づいたマップで、今後の津波避難の見直しに役立つ点が評価されました。

●優秀賞 かめやま防災ネットワーク（三重県亀山市）

みえ防災コーディネータという中間支援の方々との連携した点が、地域防災を支える新しい体制として高く評価されました。

●優秀賞 板橋区防災マップ参加プロジェクト実行委員会（東京都板橋区）

マップに入力したさまざまなデータから取捨選択し、避難する・しないの判断が分かりやすく整理した点が高く評価されました。

●優秀賞 流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会（千葉県流山市）

大学、NPO、企業、行政など多彩なメンバーで取り組まれており、防災に限らず地域課題の解決に向けて各主体の連携協働しながら取り組むための下地ができたことが高く評価されました。

●優秀賞 浜松兎亀乃会（静岡県浜松市）

行政書士などの専門的職業メンバーの団体による取り組みが、商業地域での新しい防災活動の形として高く評価されました。

審査委員

今村文彦	東北大学大学院 工学研究科 教授	※審査委員長
柴崎亮介	東京大学 空間情報科学研究センター 教授	
中川和之	時事通信社山形支局長／静岡大学防災総合センター 客員教授	
南山力生	文部科学省 研究開発局地震・防災研究課 防災科学技術推進室長	
久保岡俊宏	内閣府 政策統括官(科学技術政策・イノベーション担当)付 社会基盤分野担当	
長坂俊成	(独)防災科学技術研究所 主任研究員／日本リスク研究学会 会長	

最優秀
作品

星崎学区連絡協議会



作品介绍

- 【地域】 名古屋市南区星崎小学校区
【想定災害】 津波・水害
【グループ構成】 星崎学区内の各町内会や消防団、民生委員、PTAなど

「星崎学区防災マップ」は、東海・東南海地震での津波、豪雨による水害などを想定し、学区内の標高、防災資源、危険箇所、推奨避難経路を掲載したマップです。夏休みを利用して「子どもの目線からみた防災マップ」づくりを開催する、消防団などと意見交換する、津波避難ビル指定について事業所に協力を要請する、など、民生委員や子ども会、消防団、PTAなど様々な主体を巻き込み話し合いを重ねて地域の防災体制を変えていく取り組みを行いました。また、ほぼ完成のマップを活用して図上訓練を行い、対応策の検証を行うなどのマップを活用した取り組みが行われた。

講評

小学校区での防災活動の良い手本となる作品。水害リスクを理解し地域の避難施設までの推奨ルートを設定するとともに、高い建物への避難を推奨するなど、実践的な対策マップとなっている。多様な主体との協働により、行政やNPOの協力も得て専門的な知見を活用するなど、詳細な調査に基づいて対策が練られている。図上訓練などに利用しマップを活用した避難シミュレーションなどの検討が具体的に行われている。子供の目線、地域の目線で検討がなされている。まちあるきなどフィールド調査がしっかり行われており実践的である点を高く評価した。

活動の様子



地元の防災NPOの助言を受けながら、防災マップづくりの進め方について検討しました。



まちあるきを実施した結果、「公共施設がない」、「(津波避難の) 高層ビルがない」という課題が分かりました。



夏休みを利用して子どもたちがまちあるきを行い、自分達の視点で危険箇所、安全箇所などを調べました。



子どもたちの視点で星崎学区の防災マップをまとめました。



e 防災マップを見ながら、津波避難の方法など具体的な対策を検討しました。



e 防災マップを活用し、図上訓練を実施いたしました。

優秀賞作品

311 まるごとアーカイブス 釜石 事務局

審査員
特別賞



作品介绍

- 【地域】 岩手県釜石市
【想定災害】 地震・津波
【グループ構成】 311 まるごとアーカイブス釜石事務局
(東日本大震災で釜石市に緊急雇用されたメンバーグループ)

「地震や津波はそのものを防ぐ事が出来ず、被害を最小限にとどめる事が大切」と考え作成された『自然災害と共存していくためのマップ』。営業を再開した店舗の事業者などに、地震が起きた時の対応、津波避難の経路、営業再開までの過程などをヒアリングし、現時点のお店の営業情報や避難経路、体験談などをマップにまとめました。

講評

津波被害や被災地の復興過程をアーカイブするプロジェクトが被災した店舗や事業者等に津波の避難行動をインタビューし、実際に避難した経路をマップに登録するとともに浸水区域や避難場所をマップ化し、津波避難の検証のための貴重なマップとして評価できる。被災後の状況を聞き取りながらマップに落とすことで記憶のアーカイブになっており、聞き取りの概要が直接画面で読み取れる点がユニークである。推奨避難場所ではなく近くの山に避難したなど今後の避難場所の見直しにとっても貴重な資料となることが評価できる。被災地での貴重な活動成果として、日本全体の財産として多くの方に見てもらいたいマップとして高く評価した。継続して活動をして欲しい。

優秀賞
作品

かめやま防災ネットワーク



作品介绍

【地域】 三重県亀山市和田町、亀山市東部地域

【想定災害】 地震・台風

【グループ構成】 町内会、防災コーディネータなど

みえ防災コーディネータ養成講座の受講生、かめやま防災ネットワークの委員、民間企業の支援を受けながら、安否確認や要援護者支援について検討して作成したマップ。要援護者は、「一人暮らしなのか」、「デイサービスを受けているか」など、詳細に調べて整理を行いながら作成いたしました。

※作品公開サイトのマップでは要援護者情報を非公開としております。

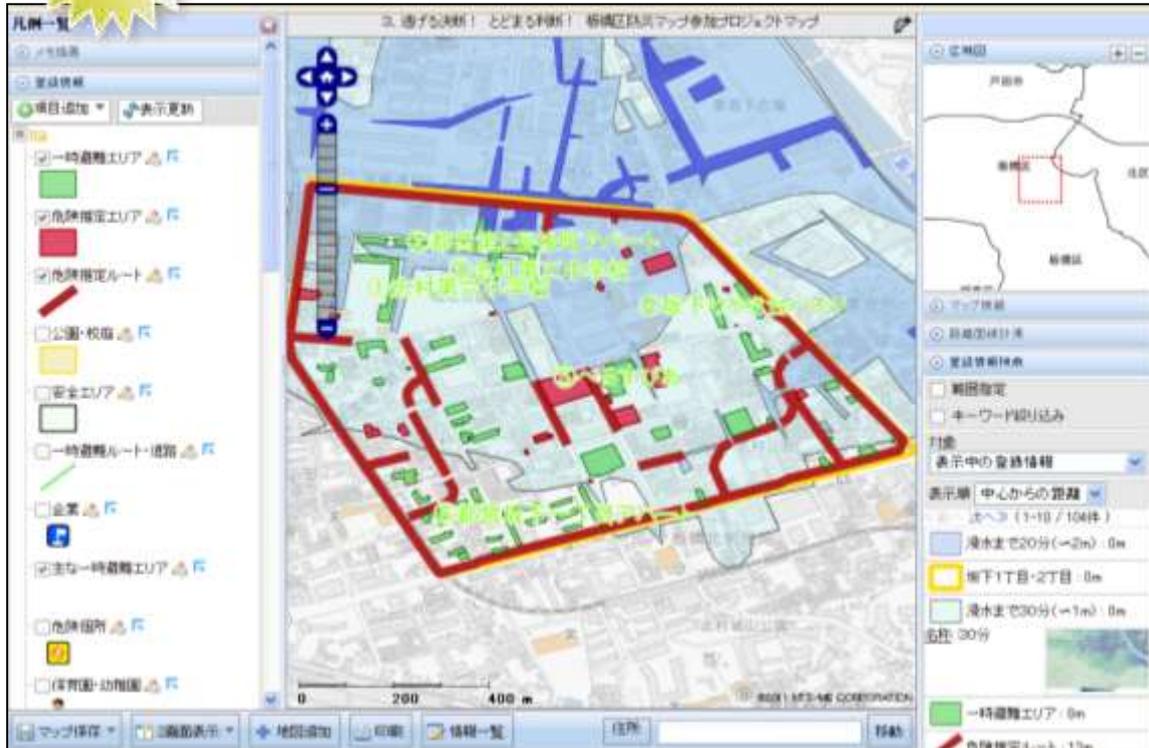
講評

町内会を基礎とする自主防災の取り組みを、防災コーディネータをはじめとする団体が中間支援するという、新しい地域社会での活動の形としての協働性が高く評価できる。要援護者情報を精査し、まちあるき、ワークショップなど地域のリスク意識や知恵が共有され対策に向けたネットワークづくりの基礎づくりに寄与していると評価できる。要援護者の安否確認に重点がおかれ安否確認の担当エリアマップが特徴的である。災害時に役立つ社会資源のマップも特徴。

ただし、今後、どのような活動を継続していくのかが見えない。作成したマップを活用した地域の活動への展開に期待する。

優秀賞
作品

板橋区防災マップ参加プロジェクト実行委員会



作品介绍

- 【地域】 東京都板橋区志村
- 【想定災害】 水害
- 【グループ構成】 青年会議所、町内会、小中高校、大学など

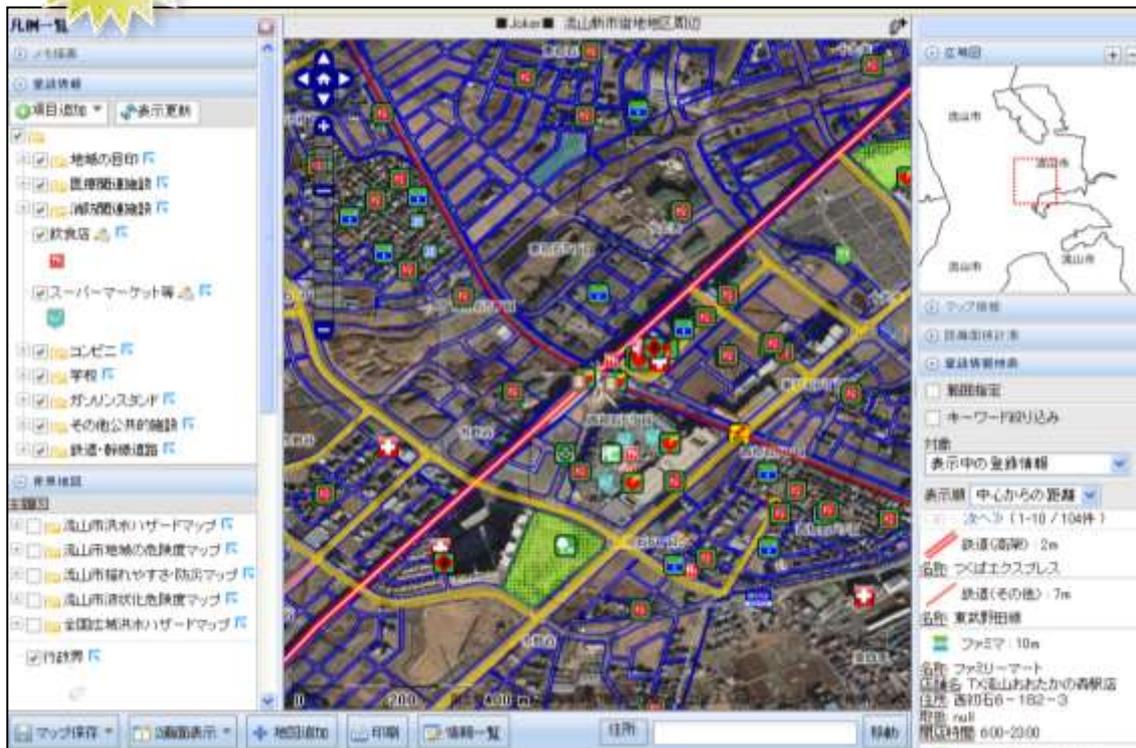
水害時に避難するかとどまるか、判断するためのマップ。青年会議所や地元大学のゼミ生が中心となって取り組みました。地元住民や企業へのアンケートやまちあるきの実施、水道局などとの意見交換など、複数の調査に基づいて調査結果をマップに整理し、その結果をもとに水害発生時の対応について複数町内会を交えて検討を加え、とどまるかどうかの判断に必要な情報のみを掲載した目的に特化したマップを作成しました。

講評

青年会議所という地域の事業者団体の社会貢献として、大学との連携し、地元町内会や小中高校などの地域コミュニティを巻き込んだ、種別や世代を超えた協働性が高く評価できる。水害ハザードマップを巡り東京都下水道局や関係各所管と何度も話し合う、過去の浸水実績図を参照するなど、専門家の知見や経験的な教訓を詳細に調査している。テーマが明確で、データを収集した後に必要なデータを選別することで逃げる判断と留まる判断が分かりやすいマップとしている。まちあるき、ワークショップなどの作成過程での検討内容も残されており、検討結果を見直しできる点が良い。今後の活動の見通しが不透明であるが、地域での活用などの展開が強く望まれる。

優秀賞
作品

流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会



作品介绍

【地域】 千葉県流山市流山おおたかの森

【想定災害】 災害全般

【グループ構成】 流山新市街地地区安心・安全まちづくり協議会

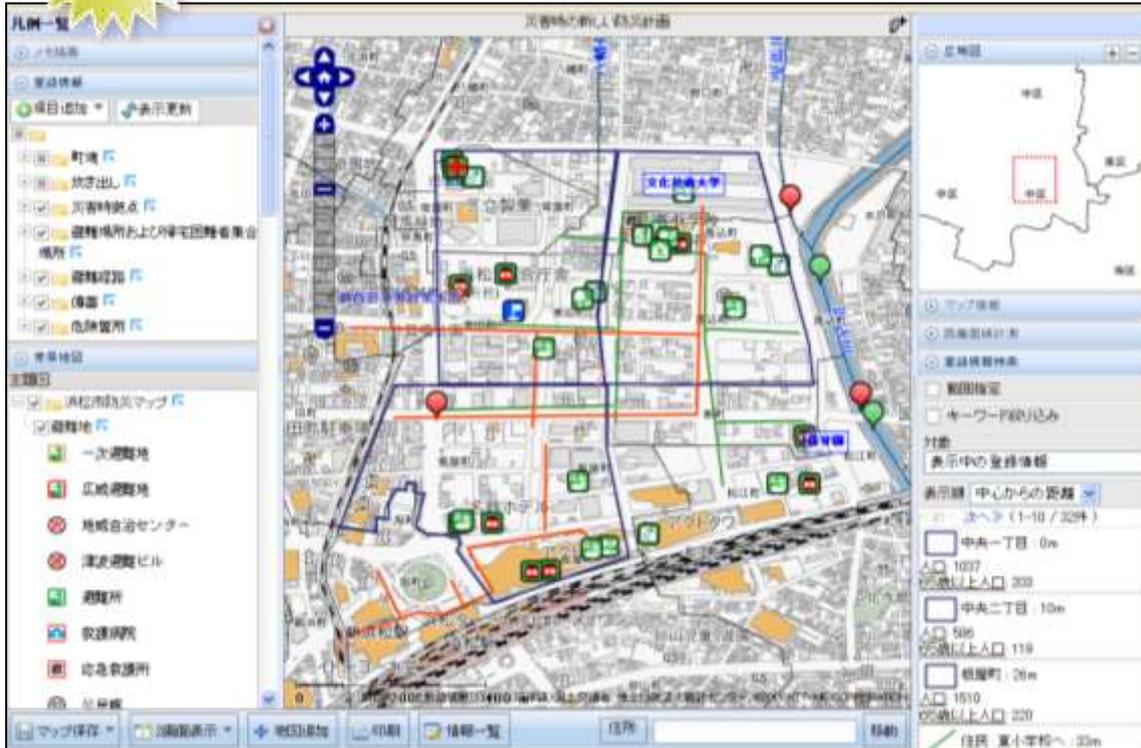
大学や社協、NPO、市役所、UR都市機構などからなる協議会が、安心安全の地域づくりの一環としてマップを作成。防災のみを目的としたマップだけでなく、日常での活用するマップ、防犯マップなど、テーマ別に様々な作成し、防災訓練にて配布するなどの取り組みを行いました。

講評

防災に限らず地域の連携・協働により地域課題の解決を目指すまちづくり協議会が中心となり、大学、福祉団体、民間事業者、NPO、行政など多様な主体との協働し、一町内を超えた新しい地域コミュニティの範囲で活動している点が評価できる。マンションの管理組合とも協議し、マンションの餅つき大会の行事に合わせて炊き出し訓練を提案するなど、実際の防災活動に結び付いた活動を展開している。避難、消火、救護、物資の収集など災害対応ごとに必要なマップを整備している。ガソリンスタンド、コンビニ、飲食店等の地域に災害時に物資を調達可能な店舗が登録されており社会資源を災害時に活用する視点が評価できるが、事業者と優先的に物資を提供するなどの協定の有無は不明である。作成したマップを活用した地域課題解決への展開に期待したい。

優秀賞
作品

浜松兎亀乃会



作品介绍

- 【地域】 静岡県浜松市中区・南区
- 【想定災害】 地震・水害、液状化
- 【グループ構成】 静岡県西部地区で活動する各士業事業主の団体

業務商業地区における行政書士等専門的職業の方々の団体による取り組み。該当地区に勤務する従業員数や学生などの人数を見積もり、帰宅困難者数を算出、この分析結果をもとに様々な主体と聞き取り調査を行いました。聞き取り等による結果から、明確化された地域の課題と解決の提案をマップにまとめました。

講評

行政書士など専門的職業の方々の団体による取り組み。防災を主目的としていないグループが自立して課題解決に向けた活動の第一歩を踏み出しており、商業地域での新しい防災活動の形として評価できる。自治会、行政、事業者、病院、保育園、社会福祉協議会等への聞き取りを実施し、消防等とも意見交換を行い、詳細に調査を行っている。都市型災害としての帰宅困難者対応、独居老人の安否確認などが当該地域の防災上の課題が共有されている点も評価できる。町内会ごとに高齢者数を表示するなど要援護者対策に資する基礎データをマップとして整備している。

今後も集めた情報の可視化を継続し、地域コミュニティと連携した活動へと発展して欲しい。

応募作品

NPO 法人サポート唯・やまがた女性 21



【地域】

山形県山形市東青田周辺、
山形市北町周辺

【想定災害】

地震

【グループ構成】

女性の社会参画に関わるNPO
を中心に、大学や地元民間企業
など

講評

防災を専門とする団体や NPO ではなく、女性の社会参画等を支援する NPO が主体となり、高齢化の課題やまちづくりの中で地域防災を考える取り組みが特徴的。地域の民間事業者の支援を受けてマップづくりの講座を実施するなど、地域の協働性に結びつく取組と評価できる。災害時に役立つ生活必需品を扱う店舗マップを作成し地域の災害対応力を高める取り組みは評価できる。複数グループの作成、大学メンバーのアドバイス、防災カノートはユニーク。マップの基本要素が不足する点が惜しい。

応募作品

高塚台二丁目自主防災会



【地域】

奈良県北葛城郡河合町
第三小学校区

【想定災害】

地震

【グループ構成】

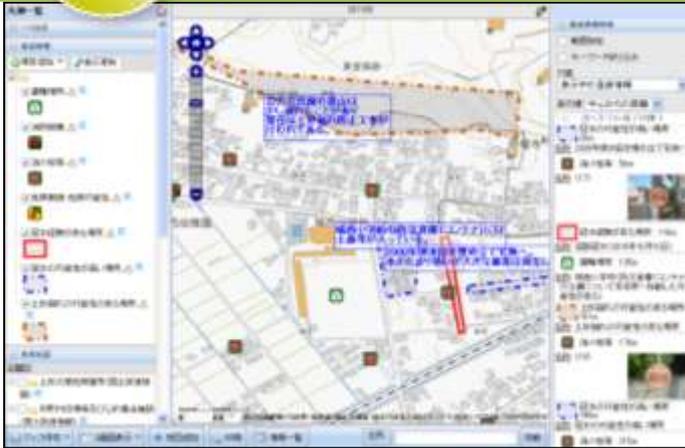
町内会の自主防災会、小学校な
ど

講評

ベッドタウンの自治会を基盤とする自主防災組織の取り組み。無線機のある場所や炊き出しの場所など、施設名ではなく災害時の機能名称でマップを作成していることが実践的である。どんなリスクを対象に検討するのか、目的を明確にした方が良い。

応募作品

東金市消防団城西班



【地域】

千葉県東金市城西地区

【想定災害】

道路冠水・山崩れ等

【グループ構成】

地域の消防団など

講評

土砂災害や内水氾濫のリスクが見える化したマップとして意義がある。災害に至らなかったリスクも伝えられる。消防団内部の情報共有に留まっている点が残念。さまざまな団体との連携に展開することを期待する。

応募作品

千葉県立東金特別支援学校



【地域】

千葉県東金市北之幸谷

【想定災害】

地震・水害・土砂崩れ

【グループ構成】

特別支援学校の先生・生徒を中心に、敬老会や地域ボランティアなど

講評

特別支援学校と地域の老人会、行政による取り組み。元禄地震の津波供養碑の見学や地域に長年住む方のお話を聞くなど、地域の特徴を共有されていることが評価できる。生徒と地域との合同訓練により地域の絆づくりに貢献していることが評価できる。

千葉県の津波浸水図を活用した取り組みがあるとなお良い。地域に勇気を与える活動で、ぜひ継続・発展して欲しい。

応募作品

湊町地区社会福祉協議会



【地域】

千葉県船橋市湊町地区

【想定災害】

地震

【グループ構成】

地区社会福祉協議会など

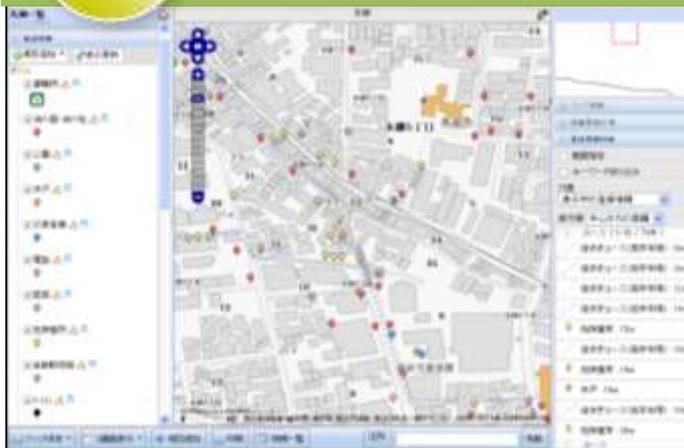
講評

地区社会福祉法人が中心となり、要支援者の避難や生活支援の視点からのマップづくりが評価できる。要支援者のマッピングの際に、支援者の連絡先も入力し地域の絆により要支援者支援に貢献していることが評価できる。

津波や洪水のリスクへの問題意識は明確なので、そのリスクをマップに可視化して欲しい。洪水記録調査も継続して実施し、対策を検討する際に活用して欲しい。

応募作品

街 ing 本郷



【地域】

東京都文京区本郷小学校地区

【想定災害】

地震

【グループ構成】

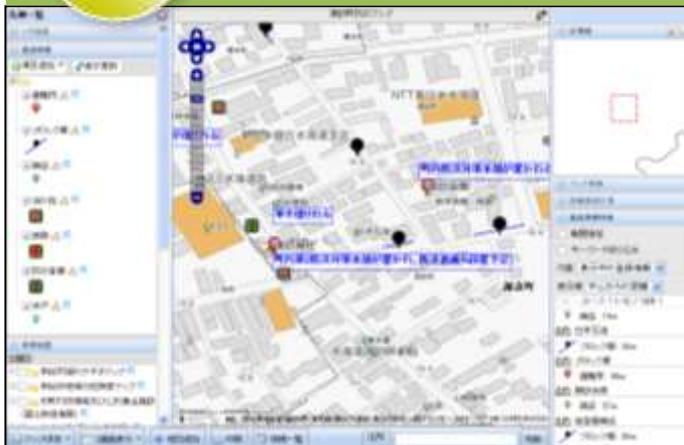
NPOの教育・講習会担当グループが中心

講評

NPOによる地域講習会として親子を対象に防災マップづくりを実施。消防への聞き取りなど専門家の助言を受けている。ゲームとして子供が参加したくなる工夫をし、防災力の基礎となる人と人との絆づくりにチャレンジしていることが評価できる。

応募作品

水海道諏訪町町内会



【地域】

茨城県常総市水海道諏訪町

【想定災害】

地震

【グループ構成】

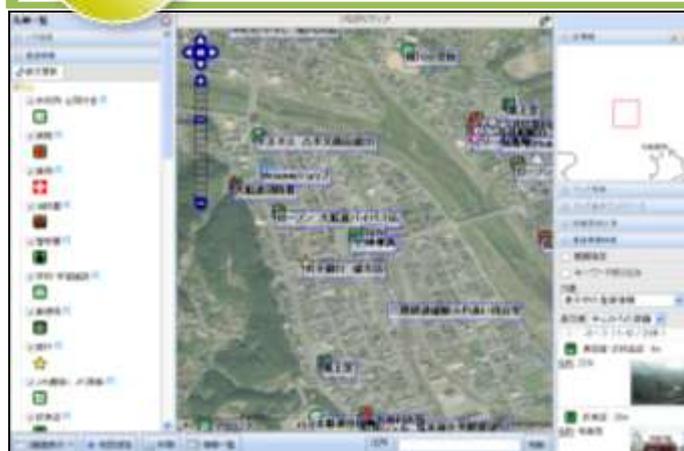
町内会及び自主防災会

講評

町内会の自主防災組織設立のきっかけづくりとしてマップづくりに取り組んでいる。マップづくりの過程で、昼夜により災害時の人的資源が大きく異なることを再認識し、課題を明らかにしている。今後の自主防災体制づくりにつながるものと期待できる。より詳細な活動報告があると良い。

応募作品

KOM(気仙を大いに盛り上げたい)プロジェクト



【地域】

岩手県大船渡市・陸前高田市

【想定災害】

地震・津波

【グループ構成】

東日本大震災の被災者で、復興やその過程のアーカイブ活動を行っているグループ

講評

被災した若者による被災地の情報発信と記録に取り組むアーカイブプロジェクトによる、津波で流された地域の仮設店舗マップ。防災をテーマにしたマップではないが、被災地の生活を支援する貴重な取り組みとして評価できる。

このマップをどのように活用するのか、今後の展開に期待したい。

応募作品

キズナの森



【地域】

新潟県長岡市中之島・
見附市今町

【想定災害】

地震・水害

【グループ構成】

刈谷田川防災公園の運営・管理
をする任意団体

講評

長岡市及び見附市を跨ぐ住民、NPO、商工会、商店街による協働のまちづくりの取り組み。キズナの森という活動自体は、直接防災の取り組みではないがとてもユニークで今後にも期待される活動であり、まちづくりの中で今後防災の取り組みに発展することを期待したい。